

施策評価表

施策番号	- - 32	重点プラン	2 安心していきいきと暮らせる	施策名	多様な保育サービスの推進	所管課	こども福祉課	関係課	生涯学習課		
------	--------	-------	-----------------	-----	--------------	-----	--------	-----	-------	--	--

1. 施策の概要

対象	保護者が就労や病気等の理由により、家庭において保育することができない就学前の乳幼児
目的	働く保護者が、安心して子どもを預けられる環境を整えるとともに、子どもが元気で健やかに育つようにします。
現状 (計画策定時)	本市は子育て世帯が多いことから、多様な保育ニーズに対応するため、次世代育成支援行動計画に基づき、保育園では、乳児保育・延長保育・休日保育・年末保育・病後児保育といった保育サービスを実施してきました。さらに、放課後健全育成事業(保育クラブ)については、他市に先駆け、全小学校区で実施してきました。また、平成18年から20年度までの間で、民設園4園(定員230名)を整備し、待機児童の解消に努めてきました。しかし、マンションなどの建設により若い世代が多く在住していることなどから、保育園への入園申請者数や一時保育(一時預かり事業)利用希望者は、年々増え続けている状況となっています。
課題 (計画策定時)	保育園、保育クラブの待機児童の解消や一時保育の利用希望への対応が求められています。また、家庭保育室を利用しやすくなるような環境づくりが求められています。さらに、新たな保育ニーズへの対応も求められています。

2. 施策指標の達成度(定量的評価)

計画策定時	指標名	単位	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32	平成27年度目標値に対する進捗率(%)
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
計画策定時	保育園待機児童数	人	目標値			61.0	45.0			0.0	0.0	
			実績値	64.0	93.0	61.0						
計画策定時	保育クラブ待機児童数	人	目標値			0.0	0.0			0.0	0.0	
			実績値	3.0	2.0	0.0						
計画策定時	子育て環境が十分であると 感じる市民の割合	%	目標値			21.8	24.4			32.0	43.0	68.1
			実績値	21.8	21.8	21.8						
補足指標			目標値									
補足指標			実績値									
施策指標の達成度に関する評価				理由								
A 目標をほぼ達成する B 目標をやや下回る C 目標を下回る D 目標を大幅に下回る				B 計画にしたがって事業の推進を図っているため保育クラブの待機児童数は減少しているが、保育園待機児童の解消が図られていないため。								

3. 施策の取組内容の達成度(定性的評価)

取組番号	取組内容	取組内容の評価		事務事業名	課所名	備考	事務事業 評価結果	事業費						今後の方向性					
		活動の成果・進捗状況	未達成事項・ 解決していない課題					平成22年度決算額(千円)			平成23年度決算額(千円)			平成24年度予算額(千円)			構成事 業の妥 当性	優先度	
								総額 (A)	特定財源 (B)	一般財源 (A-B)	総額 (A)	特定財源 (B)	一般財源 (A-B)	総額 (A)	特定財源 (B)	一般財源 (A-B)		1次 評価	2次 評価
保育園の待機児童の解消	待機児童が解消されない現状があるため、弾力的な受け入れを行っている。また、保護者のニーズに合わせて休日保育を実施し、保護者の就労と子育てを支援を行っている。待機児童の解消を図るため、民間保育園の誘致の計画をすすめている。	民間保育所の開設を進めてきたが、依然待機児童の解消が図られていないことから、待機児童の状況及び国・県の施設整備補助金の動向を確認しながら、引き続き民間保育園の誘致を行う必要がある。	しらか保育園管理運営	こども福祉課	このまま継続	103,875	31,510	72,365	91,722	36,402	55,320	109,976	36,951	73,025	B	B			
			保育園管理運営	こども福祉課	改善して継続	15,434	169	15,265	8,937	163	8,774	10,045	170	9,875	B	B			
			みなみ保育園管理運営	こども福祉課	このまま継続	162,657	57,031	105,626	155,292	58,680	96,612	168,532	60,601	107,931	B	B			
			公設民営保育園運営	こども福祉課	改善して継続	582,464	127,123	455,341	584,630	130,625	454,005	603,852	133,341	470,511	A	B			
			民間保育園運営	こども福祉課	改善して継続	597,005	293,913	303,092	576,244	320,522	255,722	604,560	336,383	268,177	A	A			
			管外保育児童運営	こども福祉課	改善して継続	78,957	30,322	48,635	67,831	25,110	42,721	63,902	30,746	33,156	B	B			
			休日保育管理運営	こども福祉課	このまま継続	4,740	992	3,748	4,741	1,265	3,476	4,820	955	3,865	C	C			
			保育園施設整備	こども福祉課	-	410	0	410	0	0	0	0	0	0	-	-			
			民間保育園新設	こども福祉課	改善して継続	0	0	0	383	126	257	172,845	104,217	68,628	A	A			
保育クラブの待機児童の解消	待機児童については、年度はじめの段階では、ほぼ解消しているが、必ずしも児童や保護者が希望している保育クラブに全員が入所できているわけではない。ただし、新1年生や2年生などの低学年児童は希望する保育クラブに入所できている。	全ての児童が希望する保育クラブへ入所できるようにするためには、保育クラブの増築等が必要となる。	保育クラブ管理運営	生涯学習課	このまま継続	243,814	77,499	166,315	251,960	76,094	175,866	251,532	87,145	164,387	B	B			
家庭保育室利用保護者の負担軽減	運営事業者に対して、保育人数に応じた運営費などの委託料の支出、また利用者に対し、保育料助成を行っている。最低年1回以上の立入調査を実施したことにより、利用者も適切な環境で保育が受けられていることを確認している。	待機児童の解消が図られていない状況から、家庭保育室の需要を見極めながら、新設の必要性についての検討を要する。また、保育料助成の年齢拡大(3歳児以上)についても検討を要する。	家庭保育室運営	こども福祉課	このまま継続	51,583	0	51,583	58,745	13,058	45,687	84,731	9,986	74,745	B	B			
一時保育の拡充	一時保育を実施することにより、保護者の子育てと就労を支援し、保育に欠ける児童の福祉の向上を図るとともに、保育に欠けていない児童に対しても社会的行事における預かり等を行うことによって、保護者の子育てに対する負担軽減を図った。受付方法や料金改定など検討を重ねながら、事業の拡充に向けて実施している。	利用ニーズが減少傾向にあるが、今後利用ニーズが増大する場合は、利用申込者が希望日に一時保育が受けられるよう、民間保育園での整備について検討を要する。	一時保育管理運営	こども福祉課	改善して継続	53,356	21,939	31,417	53,345	23,506	29,839	54,288	19,341	34,947	C	C			

施策評価表

施策番号	- - 32	重点プラン	2 安心していきいきと暮らせる	施策名	多様な保育サービスの推進	所管課	こども福祉課	関係課	生涯学習課													
新たな保育ニーズへの対応				基地跡地利用計画でこども総合施設建設用地として取得する予定となっているが、現在の課題である待機児童解消対策のための、民設民営による保育園の誘致を優先的に進めている。また、市の財政状況においてもこの土地を取得することは難しい。	こども総合施設建設	こども福祉課	H25～				0	0	0	0	0	0	0	C	C			
								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4. これまでの取組に関する施策全体の総合評価

総合評価	理由(施策全体の進捗状況・解決していない課題など)
A 順調に進んでいる B ほぼ順調に進んでいる C あまり順調に進んでいない D 順調に進んでいない	B 多様な保育ニーズに対応した保育内容を維持しながら、待機児童の解消を図るため、民間保育園や家庭保育室の誘致を進めているが、依然待機児童が多い状況が続いている。
当市のサービス水準	理由(近隣他市との比較)
A 高い B 普通 C 低い	A 保育園全園で0歳児保育・延長保育を実施していることや公立園での一時保育・病後児保育の実施は、他市と比較し、サービス内容が充実しており、多様な保育ニーズに対応しているため。

5. 今後の施策の方向性(施策の推進に向けた今後の施策の展開や事業の見直し等)[1次評価(所管課)]

1次評価	待機児童解消に向け、施設整備をすすめていき、家庭保育室や一時保育を含め、全施設が引き続き質の高い保育を行うことができるよう環境を整えていく必要がある。	対象者の方向性(増減)(%)	基本目標に対する貢献度
		110	A

6. 今後の施策の方向性[2次評価(行政評価委員会)]

2次評価	当面は施設数を増加させることで環境の整備を目指す。また、将来の保育制度改革等については十分に対応できるよう検討すること。	サービス水準		コスト
		現状	方向性(目標水準)	方向性
		A	(A)	

7. 今後の施策の方向性(次年度行政経営方針)

サービス水準		コスト	コメント
現状	方向性	方向性	

施策評価表

施策番号	- - 50	重点プラン	2 安心していきいきと暮らせる	施策名	コミュニティづくりの推進
------	--------	-------	-----------------	-----	--------------

所管課	市民活動推進課	関係課	
-----	---------	-----	--

1. 施策の概要

対象	自治会・自治会連合会・コミュニティ協議会・地区団体、地域(周辺)住民、施設利用者
目的	地域の市民同士が日頃から顔を合わせ、地域コミュニティを活性化することで、地域課題を自助・共助・公助の力で解決できるようにする。
現状(計画策定時)	コミュニティ活動は、自治会連合会の地区懇談会などの開催により、横のつながりが強化されている。市民意識調査では、「自治会活動や各種おまつりなどコミュニティ活動が充実している」の満足度が36.5%と他の施策と比べて高く、コミュニティ施設利用も増加していることからコミュニティ活動は充実しているといえる。しかし、地域住民が連携した活動を行い、行政とのパイプ役を果たす自治会への加入率は年々低下している。
課題(計画策定時)	市民の価値観やライフスタイルの多様化、コミュニティ意識の希薄化から、地域で集まる機会が少なくなり、市民の自治会に対する関心も低くなっています。また、地域の気軽に集まれる場所が不足しています。

2. 施策指標の達成度(定量的評価)

計画	指標名	単位	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32	平成27年度目標値に対する進捗率(%)	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		目標値
計	コミュニティ活動が充実しているに対し「満足」「まあ満足」と回答した割合	%	目標値			37.0	37.0			45.0	50.0	82.2	
			実績値	36.5	37.0	37.0							
			目標値			43.9	45.0			48.0	50.0		
指	自治会加入率	%	目標値			46.2	45.8	45.6				95.0	
			実績値	46.2	45.8	45.6							
標	自治会が自主的に行う年間平均事業数	事業	目標値			8.9	10.5	11.0			9.5	10.0	115.8
			実績値	8.9	10.5	11.0							
補	指標		目標値										
			実績値										
施策指標の達成度に関する評価											理由		
A 目標をほぼ達成する B 目標をやや下回る C 目標を下回る D 目標を大幅に下回る				A		自治会連合会と連携を図り、自治会の設立や未加入者への加入促進を積極的に行っており、目標達成が可能である。							

3. 施策の取組内容の達成度(定性的評価)

取組番号	取組内容	取組内容の評価		事務事業名	課所名	備考	事務事業評価結果	事業費						今後の方向性								
		活動の成果・進捗状況	未達成事項・解決していない課題					平成22年度決算額(千円)			平成23年度決算額(千円)			平成24年度予算額(千円)			構成事業の妥当性	優先度				
								総額(A)	特定財源(B)	一般財源(A-B)	総額(A)	特定財源(B)	一般財源(A-B)	総額(A)	特定財源(B)	一般財源(A-B)		1次評価	2次評価			
自治会活動の活性化		23年度は「自治会活動支援員」2名を雇用し、自治会の未組織が多い集合住宅を中心に自治会立ち上げ支援を行った結果、10月には1自治会が設立され、長年活動を休止していた自治会が再開に向けて協議を開始するなどの動きが見られた。また、地域防災意識の高揚と自治会同士の連帯感を醸成することを目的に自治会連合会と共催した「地域防災訓練」には、多くの自治会が参加し、事業の継続が決まった。	自治会未組織エリアの解消や未加入者への加入促進のほか、自治会内では役員の成り手不足も深刻化している。また、構成員の高齢化に伴い、活動が低調となっていく恐れがあり、若年世代の新規加入促進策を講じ、活動の維持に向けた支援も必要とされる。	コミュニティ活動支援	市民活動推進課		改善して継続	12,285	0	12,285	10,935		10,935	15,094	2,300	12,794		A	A			
				自治会活動活性化	市民活動推進課		改善して継続	0	0	0	4,645	4,645	0	5,243	5,243	0				B	B	
				コミュニティビジネス創生	市民活動推進課	H23まで	終了(廃止・休止)	0	0	0	1,810	1,810	0	0	0	0	0					
地域の人が集まれるきっかけづくり		「和光市民まつり2011～つなげよう人の“和”を届けよう希望の“光”を～」は、市民が集う最大の機会として地域の絆づくりに寄与した。その運営は、地域活動団体を中心とした市民による実行委員会形式で行っており、プログラム内容やポスターの選定などを通じて、団体間の交流機会としても有効である。また、地域の実情に即した生活環境改善への支援を通じて、地域内での潤いのある人間関係が形成された。	市民まつりには、市民が愛着を感じられるように、地域性を色濃く出すなどの“和光らしさ”を盛り込む必要がある。	市民まつり	市民活動推進課		改善して継続	5,740	0	5,740	5,740		5,740	5,640	0	5,640		C	C			
				ふれあい施設整備	市民活動推進課	H23まで	終了(廃止・休止)	0	0	0	1,816		1,816	0	0	0						
				(仮称)和光版オンパク事業	市民活動推進課	H24～	-	0	0	0			0	4,000	4,000	0				B	B	
				友好都市交流	市民活動推進課	H24	-	0	0	0			0	1,822	0	1,822				C	C	
コミュニティに関する情報提供の充実		人を集める手段として、広報・ホームページに加え、ツイッタ など当市の住民構成を意識した手法を取り入れ、多くの参加者を得ることができた。	広報の発行が月1回になり、インターネット等を活用できない世代への情報提供手段の確保が課題である。	人件費以外予算を伴わない取組	市民活動推進課																	

4. これまでの取組に関する施策全体の総合評価

総合評価	理由(施策全体の進捗状況・解決していない課題など)
A 順調に進んでいる B ほぼ順調に進んでいる C あまり順調に進んでいない D 順調に進んでいない	A 地域のコミュニティづくりを活性化させる事業を、公益財団法人あしたの日本を創る協会主催「平成22年度あしたのまち・くらしづくり活動賞(全国表彰)」「振興奨励賞」等の受賞団体である、自治会連合会など地縁系8団体で構成する「コミュニティ協議会」が中心となり実施し、全国的にも地域コミュニティづくりが評価されているほか、市民意識調査においても「自治会活動や各種おまつりなどコミュニティ活動が充実している」の満足度が他の施策に比べて高くなっている。
当市のサービス水準	理由(近隣他市との比較)
A 高い B 普通 C 低い	A 県南部地域を中心に深刻化しつつある「自治会離れ」解消に向けた自治会未加入者や自治会未組織地域への取組みが、専従職員(自治会活動支援員)により活性化され、成果として現れてきている例は他にない。

5. 今後の施策の方向性(施策の推進に向けた今後の施策の展開や事業の見直し等)【1次評価(所管課)】

1次評価	自治会連合会及びコミュニティ協議会が行う事業は、地域コミュニティの形成に必要であり、それぞれの団体と連携を図り、コミュニティづくりを推進する。	対象者の方向性(増減)(%)	基本目標に対する貢献度
		105	A

6. 今後の施策の方向性【2次評価(行政評価委員会)】

2次評価	自治会の支援体制を更に充実させ、効果的に活動することで、地域コミュニティの活性化を目指すこと。	サービス水準	コスト
		現状	方向性(目標水準)
		A	(A)

7. 今後の施策の方向性(次年度行政経営方針)

サービス水準	コスト	コメント
現状	方向性	